小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表　（平成３０年度）

法人名	社会福祉法人 さつき会	代表者	波潟　幸敏
事業所名	小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家	管理者	秋保　友美

法人・事業所の特徴	利用者一人ひとりの人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続することができるよう支援すると共に、地域住民の多くの協力を得ています。利用者の心身の状況、希望、及びその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ、訪問サービスはその方の生活に配慮した頻回な訪問を提供し、地域での暮らしを支えています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	元利用者家族	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	１人	２人	２人	１人	１人	人	４人	人	１１人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み･結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	運営改善の為、やりがいと働きがいのある職場を作る。 ・定期面談の継続 ・リフレッシュ休暇（5連休）の継続実施	・定期面談を継続することが出来た。 ・有給休暇取得日数にばらつきはあったが、予定通り実施できた。	改善に向けできる範囲で取り組んでいる。	各項目の改善点を実施する。
B．事業所のしつらえ・環境	・認知症の重度な方々が穏やかに過ごせる居心地の良い環境をつくる。 ・しつらえに関しては今後も継続し、来所する方、利用する方皆さんをおもてなしできるようしつらえる。	・認知症の重度な方々が穏やかに過ごせる居心地の良い環境づくりに心がけた。 ・季節に合わせたしつらえを行った。	・しつらえは、毎回来るたびにいつも感心している。楽しみにさせてもらっている。	・おもてなしできる設え作りの継続。 ・居心地が良いと感じられる環境つくり。
C．事業所と地域のかかわり	・地域の方にもっと交流スペースの活用をして頂けるよう、チラシ作成し町内配布。 ・地域に向けたＰＲ活動・内容について企画立案・実施。	・交流スペースの活用をして頂けるよう、チラシ作成は出来なかった。 ・広報にて事業所のＰＲを行った。	・交流スペースの開放にかんしても広報でＰＲしてはどうか。	・地域の方にもっと交流スペースの活用をして頂けるよう、広報さつきでＰＲ。 ・地域に向けたＰＲ活動・内容について企画立案・実施。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方に理解と協力を頂けるよう、認知症についての講座の立案、開催。	・認知症講座の立案、開催ともに未実施。	特になし	地域の方に理解と協力を頂けるよう、認知症についての講座の立案、開催。

Ｅ．運営推進会議を活かした取組み	施設内見学会の定期的な開催	運営推進委員の方のみではあるが、見学会を行えた。	介護に関する相談ができる場所になるといいかも。	介護相談室の開催
Ｆ．事業所の防災・災害対策	地域の方対象での避難訓練の見学会開催。	見学会には至らなかった。	特になし	地域の方対象の避難訓練見学会開催。